



1,840 人 県内 2 位の団員数

4/8 安曇野市スポーツ少年団結団式

市スポーツ少年団（加々美浩一本部長）は 4 月 8 日、市堀金総合体育館で結団式を開きました。各単位団を代表する約 500 人が集まり本年度の飛躍を誓いました。橋渡勝也教育長は「スポーツに夢中になって打ち込むことで、燃える、喜ぶ、悔しがるなど豊かな感情を育てることができます。たくましく成長することを願っています」と活動に期待を寄せました。昨年度の市スポーツ少年団の登録者数は上田市に次ぎ 1,840 人で、活発に活動が行われています。各単位団の募集チラシは各公民館や体育館窓口で入手できます。



世界かんがい施設遺産を歩く

4/8 市観光協会「拾ヶ堰ウォーク」

市観光協会（丸山庄一会長）は 4 月 8 日、15 日の両日、世界かんがい施設遺産に登録された拾ヶ堰を歩きながら学ぶ「拾ヶ堰ウォーク」を開催しました。8 日は市内外から 66 人が参加。JR 島内駅から豊科地域まで 14^{キロ}ほどを歩きながら、取水施設や地下水路などを見学し、堰の歴史や仕組みについて学びました。観光協会の北林大さんは、「参加者の皆さんはガイドの説明に聞き入るなど本当に勉強熱心でした」と手応えを話します。秋にも同様のイベントを実施する予定です。

春の風に乗る 大合唱

4/29 早春賦まつり

第 34 回早春賦まつり（実行委員会主催）が 4 月 29 日、穂高川右岸の早春賦歌碑前で行われました。この日は、県内外から約 500 人が参加。開会式に続き穂高南小・穂高西小・穂高北小の児童や芸術文化協会コーラス部による合唱、アルパクラブによる演奏が行われました。そのほか会場ではお茶や菓子、地ビールが振舞われました。最後は、市歌と早春賦の大合唱で締めくくられ、爽やかな歌声は春の風に乗って安曇野の空に響き渡りました。

早春賦の作曲者中田章さんの孫で特別来賓の中田順子さん（東京都）は「時代は大きく変化していきますが、早春賦のふるさと安曇野の風景だけは変わらずにあって欲しい」とあいさつしました。また、市ふるさと観光大使であり、アルパを演奏した上松美香さんは「子どもたちも元気で年々歌声がパワーアップしていると感じています。早春賦まつりに参加すると安曇野の皆さんが優しい笑顔で迎えてくれてうれしいです」と話しました。



豊科高校 県内初グランプリ受賞

4/3 第 14 回クラリネットアンサンブルコンサート

豊科高校の吹奏楽部員で編成するクラリネット 8 重奏が、第 14 回クラリネットアンサンブルコンサート（日本クラリネット協会主催）で、県内で初めてグランプリを獲得しました。コンクールには全国から小中学生部門・高校生部門を合わせて 40 組が参加。豊科高校は高校生部門で 1 位、さらに全 40 組中最も優秀と評価されるグランプリを併せて受賞しました。バスクラリネットを担当する河合友香さん（同校 3 年）は「グランプリを受賞できるとは思っていませんでした。驚きと喜びと一緒に感じました」と話し、「受賞を励みに全日本吹奏楽コンクールに向けて練習に取り組みたい」と抱負を語りました。6 月 24 日には松本市のキッセイ文化ホールで同校の定期演奏会が開かれ、クラリネット 8 重奏も披露される予定です。



消防団訓練 速さと正確さを学ぶ

4/16 松本消防協会ポンプ操法・ラッパ講習会

松本消防協会主催のポンプ操法・ラッパ吹奏講習会が 4 月 16 日、防災広場を主会場に行われました。この日は、協会を構成する 8 市村の消防団員約 300 人が参加。松本広域消防局の職員らが、モデルチームを使い指導しました。参加した団員は、迅速かつ正確にポンプや器具を操作する注意点について、ビデオに記録したり、熱心にメモを取ったりしていました。今後、各消防団では大会などが行われ、代表チームは、7 月 2 日に防災広場を主会場に行われる、松本消防協会ポンプ操法・ラッパ吹奏大会に出場します。



交通事故防止を呼び掛け

4/6 春の全国交通安全運動出発式

春の全国交通安全運動に伴う出発式が 4 月 6 日、市堀金総合体育館駐車場で開かれました。本年は「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本に据え、この日は 6 団体・約 120 人が堀金交差点で夜光反射材やのぼり旗を掲げた街頭啓発活動を行いました。平成 28 年中、長野県内で発生した交通事故死者数は 121 人で、昨年より 52 人増加しています。市内でもその内 6 件が発生しており、交通事故防止の機運を一層高めていくことが求められています。